

# かがやき

令和4年 6月 17日(金)  
多摩市立連光寺小学校  
特別支援教室 かがやき学級  
学級通信 NO. 5

## 「つかれる」ってどんな感じ？

関東地方も梅雨入り、断続的な雨降りの6月となっています。恵みの雨の季節でもあり、同時に気候の変化も伴って新学期の疲れがたまる月でもあるので。健康に注意して生活していきたいですね。

子供たちの話を聞く中で「つかれる」という言葉を聞くことが多くあります。学年によっても人によっても「つかれる」は様々にあるのですが今日は「なるほどなあ〜」という子供たちの声をいくつか紹介していきます。

- ① 「暑かったり寒かったり、どっちにしていかわからないよ」いわゆる気候の変化に関する感覚です。大人も子供も同じですね。日の光を浴びる量や気圧の変化も体調や気持ちに大きく影響します。気候や天候とつかれは大きく関係していますね。
- ② 「教室のざわざわは疲れる。ゲーセンとかは平気なのに…」子供の声の中で意外と多くあるようです。耳の感度やセンサーは人それぞれですが、音に対しての感覚が局所的に敏感で疲れが非常に強い人もいます。かがやき教室では必要に応じてイヤーマフの貸出を行うこともあります。
- ③ 「聞いていることにつかれた！」私達教員も反省することがあります。教室で集中して大人の長い話を聞くことはかなり疲れることなんですね。先生からの指示は短く。言葉を簡潔に！気を付けていきます。
- ④ 「じっとしているのがおぼつかしくなる！」動かずに聞く作業はかなりの集中力を要します。感覚的に目立たない刺激の入れ方(指や手のひらをもみほぐす)を教えたり、必要に応じて許可をとって休憩を入れていくことを提案したりしています。まだまだ「つかれる」ことについての感覚が未熟で言葉で伝えられない子もいます。自分や学校のことでなく、生活していく様々なことが「つかれ」に関係してもいます。自分の感覚とどう向き合っていくか。付き合っていくか、梅雨の季節。子供たちの声にそのつど耳を傾けながら「つかれる」って感じ？と、どんな付き合い方があるかをそのつど考えていきたいと思います。

## 「いつか来た道。「振り返る」ことが大きな成長」

現在かがやき学級には1年生から6年生までの児童が通っています。それぞれいろいろな事情や思いをもって元気に通ってきています。最近「いいなあ」と思うのは、高学年から低学年への眼差しが優しいということです。話をしている中で、調子の悪いときの他学年の子に対して「そういうときもあるよな。」というスタンスの会話になることがあります。これは「そういうとき」を客観的にとらえることができ初めて言えることばでもあります。自分もそんなときがあった。そこには「成長」を感じます。今の下の学年の子もやがてはそうした自分に気が付いていくことがあると思います。そんな気づきを日々応援したい6月です。

## かがやき4コマ劇場

### ・そういうときがあった

